

# U.S. Indicators

## 米国 景気減速に歯止め(16年4月ISM非製造業・総合景気指数)

発表日：2016年5月4日（水）

～緩やかな持ち直しを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM非製造業景気指数

	総合指数									
	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動	
15/09	56.7	60.1	56.4	57.9	52.5	54.5	49.1	52.5	53.0	51.0
15/10	58.3	61.8	60.8	58.4	52.0	54.5	49.4	54.5	54.5	52.5
15/11	56.6	59.4	57.9	56.0	53.0	51.5	50.0	49.5	51.0	54.5
15/12	55.8	59.5	58.9	56.3	48.5	50.0	51.0	53.5	49.0	53.0
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5
16/04	55.7	58.8	59.9	53.0	51.0	51.5	53.4	56.5	54.0	54.0

(出所) ISM

### 非製造業景気指数は 55.7と前月比1.2% ポイント上昇

16年4月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、55.7と市場予想の54.8を上回った。前月比+1.2%ポイントと2ヵ月連続で前月から改善。指数の算出に使われる項目では、活動指数が低下したものの、新規受注、雇用が上昇したほか、入荷遅延が横ばいとなった。構成項目別の寄与度をみると、活動指数(前月比▲0.25%ポイント)が押し下げ寄与となったが、新規受注(前月比+0.80%ポイント)、雇用(前月比+0.68%ポイント)が大幅な押し上げ寄与となった。入荷遅延は前月比+0.00%ポイント。

4月のISM非製造業景気指数は、年末年始に鈍化傾向を辿っていた非製造業門が底打ちし、緩やかに拡大していること示している。また、拡大した業種数は全18業種中13業種と3月の12業種よりも増加するなど、広がりを持って改善している。情報産業、宿泊・飲食サービス、金融・保険、医療・社会援助、小売業などが堅調さを維持した。一方、縮小した業種数は、4業種(3月2業種)と増加したが、継続して縮小したのは世界経済減速の影響を受けている運輸・倉庫だけ。その他サービス、鉱業、教育サービスは縮小に転じたが持続的ではない。

### ISM総合景気指数は 55.2と景気減速に歯 止め

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、4月に55.2と3月の54.2から1.0%ポイント上昇し、米国の景気減速に歯止めがかかり、拡大ペースが緩やかに加速していることを示唆している。

四半期でも4月の55.2は、16年1-3月期の53.4(15年10-12月期56.1)を上回っており、4-6月期の経済成長の緩やかな加速を示唆している。今後、中国経済の減速が続いても、内需に支えられ総合指数が上昇を続けるとみられる。年後半に米国経済の潜在成長率を上回る成長、労働需給の一段の改善などファンダメンタルズ面で利上げを促す環境の強まりが予想される。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。